

道徳だより 第2学年

グッド*ハート

Good Heart

木津川市立棚倉小学校 平成29年9月4日

本校では、道徳教育を重点的に研究しています。このお便りでは、各学年で取り組んでいる取組や授業の様子をお知らせしていきます。学校での子どもたちの様子を知ってもらおうと共に、お家での話題のきっかけにもらえたらと思います。

「とつぜんの雨ふい」

2年生では、家族の役に立つ喜びについて考える学習をしました。

ある日、あきおがテレビを夢中で見ていると、突然雨が降ってくる。ごはんの支度で手が離せないおばあちゃんは、あきおに、「お父さんに傘を持って行ってあげて。お父さんは、今朝、風邪気味だったから、雨にぬれるのはよくないよ。」と頼む。口をとがらせたまま家を出たあきおでしたが、駅に向かって歩くうちにお父さんの事が心配になってきて走り出す。お父さんとお母さんに「助かったわ。ありがとう。」と言われ、あきおはとても嬉しい気持ちになる。・・・というお話です。

子どもたちは、本来、お手伝いが好きで、普段からお家の人の役に立つとする気持ちがないわけではありませんが、楽しいことをしている時にお手伝いを頼まれたりすると、あきおのように嫌がる子は多いのではないのでしょうか。「おこづかいがもらえるからお手伝いをする。」「怒られるからお手伝いをする。」という子もいます。

「大好きな家族のために頑張りたい。」「家族が喜ぶから、家族にありがとうって言ってもらえると嬉しいからお手伝いをしたい。」と思える子どもたちになってほしい。そんな思いを持って授業を進めました。



- 傘をかかえて走り出したあきおはどんな気持ちでしたか。
- お父さん大丈夫かな。心配。
 - 雨に濡れるとお父さんが風邪をひくし、嫌だ。
 - お父さんが待っているかも。

- お父さんに元気よく傘を差し出したあきおはどんな気持ちでしたか。
- お父さんの風邪が悪くなってなくて良かった。
 - 感謝してくれて良かった。
 - 役に立って、嬉しいな。



〈児童の感想より〉

お手伝いをすると、家族のみんなが喜ぶからいいなと思った。ご飯を運んだりしていたら「えらいな。」と言ってもらって嬉しかった。

お手伝いをすると心が気持ちよくなる。お家の人も嬉しい気持ちになる。

役に立つと嬉しいな。いいことをすると気持ちいいな。もっと役に立つことができるといいな。もっと役に立ちたいな。

お母さんが、お腹が痛くなったのでお皿洗いを一人でやったら、お母さんが、「ありがとう。助かったわ。」と言ってくれて嬉しかったです。

わたしは、たまにしか手伝いをしていなかったけど、この勉強をしてもっともっとお手伝いをしたくなりました。